

# TREホールディングス株式会社（東証1部：9247）

## 2022年3月期

## TREホールディングス概況（2021年4月～2021年9月） （株）タケエイ第2四半期、リバーホールディングス(株)第1四半期）

2021年11月15日  
TREホールディングス株式会社

### 目次

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• TREホールディングス概況(2021年4月～2021年9月)<br/>(株)タケエイ第2四半期、リバーホールディングス(株)第1四半期) P.3～               <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 設立の経緯</li> <li>✓ 会社概要</li> <li>✓ 事業内容</li> <li>✓ 中期経営計画の概要</li> <li>✓ 中期経営計画の進捗状況</li> </ul> </li> <li>• タケエイグループ P.10～               <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2022年3月期第2四半期の概況</li> <li>✓ 市場環境</li> <li>✓ 直近3事業年度における四半期比較</li> <li>✓ 事業カテゴリー別売上高及び営業利益 &lt;累計&gt;</li> <li>✓ グループ各社の売上高及び営業利益 &lt;累計&gt;</li> <li>✓ 事業カテゴリー別増減分析（前年同期比）【売上高】</li> <li>✓ 収益認識に関する会計基準の適用について</li> <li>✓ 事業カテゴリー別増減分析（前年同期比）【営業利益】</li> <li>✓ キャッシュ・フローの動向</li> <li>✓ 設備投資・減価償却費、従業員数・車両台数</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• リバーHDグループ P.24～               <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2022年6月期 第1四半期決算の概況</li> <li>✓ 市場環境</li> <li>✓ 資源相場変動による資源リサイクル事業への影響について</li> <li>✓ 経常利益増減分析</li> <li>✓ 売上高・粗利内訳</li> <li>✓ 株主配当</li> </ul> </li> <li>• トピックス P.34～               <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ TREのバイオマス発電事業について</li> <li>✓ イコールゼロ(株)の取り組みについて</li> <li>✓ (株)門前クリーンパークの工事進捗報告</li> <li>✓ TREのサーキュラーエコノミーへの取り組み</li> <li>✓ TREの取り組みについて</li> </ul> </li> </ul> |
|---|--|

# TREホールディングス概況（2021年4月～2021年9月）

設立の経緯

会社概要

事業内容

中期経営計画の概要

中期経営計画の進捗状況

3

## TREホールディングス(株) 設立経緯



マクロ環境における課題

地球	地球温暖化 資源枯渇 廃プラスチック問題	日本	人口減少 市場縮小 インフラ老朽化	業界	非効率経営 低い信頼性 後継者問題
----	----------------------------	----	-------------------------	----	-------------------------

求められる社会ニーズ

高度循環型社会の実現

脱炭素社会の実現

地球環境に対する“想い”が一致する両社が結束し、共同で資本を投じることで効率性が加速  
あらゆる経済資源を活かし合いシナジーを発揮することを目指し

2021年10月1日 (株)タケエイとリバーホールディングス(株)は、共同持株会社を設立しました。

そのために

## TREホールディングス株式会社

Try  
↓  
Technology  
Recycling  
↓  
Renewable Energy  
↓  
Earth Ecology

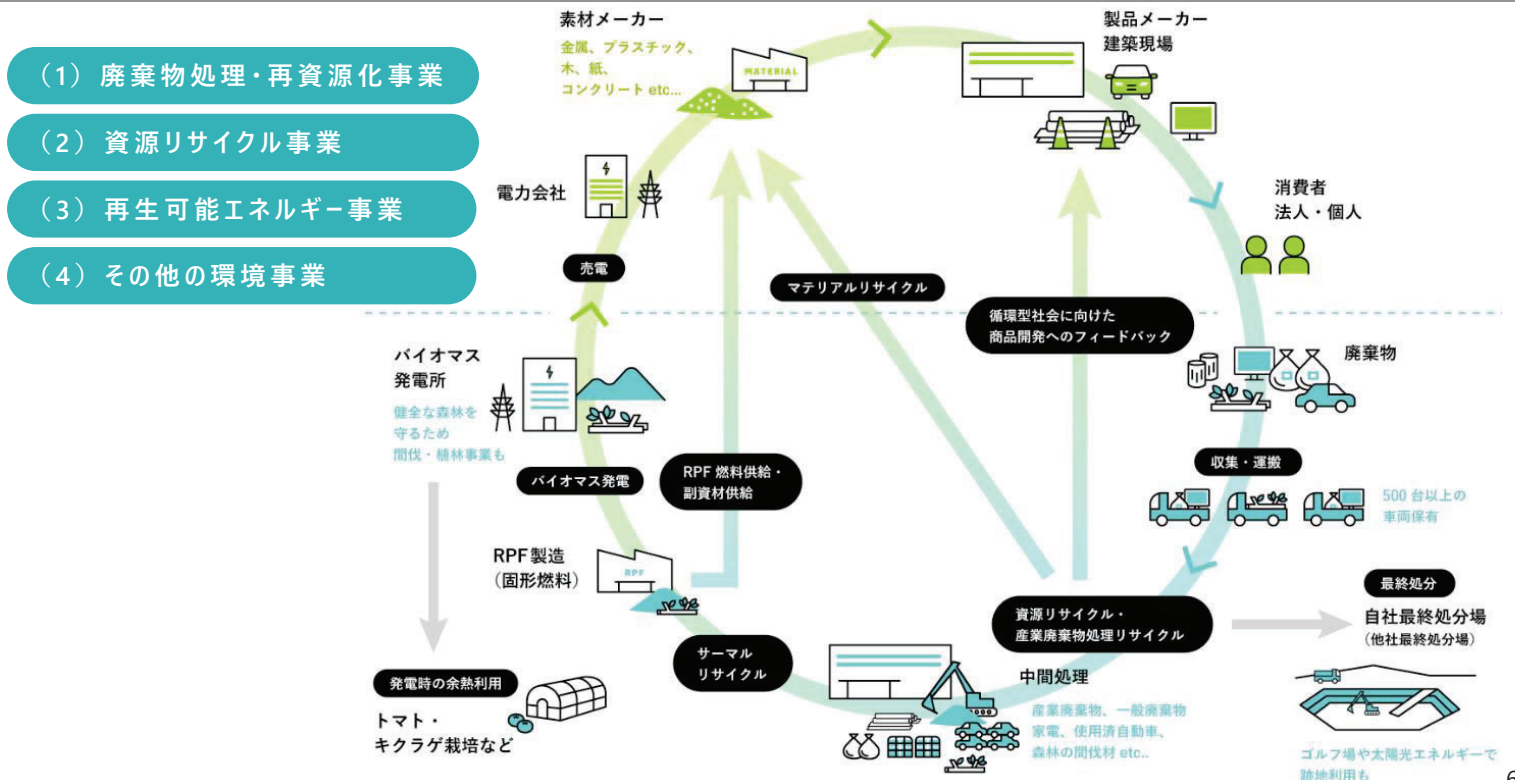
挑戦する  
新たな技術開発  
リサイクル事業の深化  
エネルギー事業の推進  
地球環境の保全

4

企業理念	地球の環境保全に貢献する。
設立	2021年10月1日
本社	東京都千代田区
代表取締役	代表取締役会長 松岡直人 / 代表取締役社長 阿部光男
資本金	100億円
従業員	連結：2,109名
グループ事業内容	廃棄物処理・再資源化事業、資源リサイクル事業、再生可能エネルギー事業、環境エンジニアリング事業、環境コンサルティング事業
子会社等	子会社：39社 持分法適用関連会社：6社
グループ拠点数	60拠点 首都圏及び東北、北陸、甲信、関西他 / 海外(タイ)1拠点
グループ主要顧客	大手建設会社、ハウスメーカー、大手製鉄会社、商社等

2021年9月末時点

TREホールディングス(株) 事業内容



目標ステートメント

2024年3月期に、売上高920億円、営業利益90億円の達成を目指します。  
 統合5年後の2026年3月期を目途に、売上高1,000億円企業（営業利益率10%以上）を目指します。  
 経営統合シナジーとして、2026年3月期までに新たな売上100億円を創出いたします。

定量目標

(2022年3月期～2024年3月期) (単位：百万円)

	2021年3月期 実績 (注1)	2022年3月期 1年目計画 (注1) (注2)	2023年3月期 2年目計画	2024年3月期 3年目計画	2026年3月期 参考
売上高	73,470	84,000	90,000	92,000	100,000
営業利益	6,727	7,700	8,400	9,000	10,000 以上
営業利益率	9.2%	9.2%	9.3%	9.8%	10% 以上
親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,084	5,050	5,460	5,890	

\* 経営指標：①ROE：8%以上 ②配当性向：30%以上  
 ③自己資本比率40%以上 ④格付BBB以上を目指す

注1：経年比較のため、統合2社(タケエイ、リバーHD)の集計期間を4月～翌3月通期で合算しております。そのため、10月1日開示業績予想とは、基準が相違しております(リバーHDは半期のみ)。この基準による2022年3月期予想は、売上高640億円、営業利益57億円、親会社株主に帰属する当期純利益33億円です。

注2：営業利益には、本経営統合に関わるのれん(約3.7億円/年：9月28日現在の暫定値)影響額及び統合関連費用約1.3億円を見込んでおります。

定性目標（基本戦略）

1. リサイクル事業の深化

お客様に、安心安全な排出物、廃棄物の静脈バリューチェーンを提供することで、「高度循環型社会」の実現へ貢献する。

2. エネルギー事業の推進

木質バイオマス発電事業や廃棄物サーマルエネルギー化による発電事業を推進することで、「脱炭素社会」の実現へ貢献する。

3. 新たな技術開発

再資源化技術、エネルギー技術に更に磨きをかけ、産学官連携も積極的に推進し、TRE事業活動への実装を図る。

4. サステナビリティ経営

コーポレート・ガバナンスの更なる強化を基盤とし、「総合環境企業」として、持続的に成長する経済社会の実現に貢献するための「サステナビリティ経営」を実践する。

(単位：百万円)

	21年3月期		2022年3月期				
	2Q実績	2Q計画	2Q実績	前期比	計画比	通期計画	2Q実績 進捗率
売上高	32,926	42,423	43,427	+31.9%	+2.4%	84,000	51.7%
営業利益	2,198	3,944	4,842	+120.3%	+22.8%	7,700	62.9%
営業利益率	6.7%	9.3%	11.2%	+67.0%	+19.9%	9.2%	—
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,239	3,055	3,638	+193.6%	+19.1%	5,050	72.0%

注1：経年比較のため、統合2社(タケエイ、リバーHD)の集計期間を4月～翌3月通期で合算しております。そのため、10月1日開示業績予想とは、基準が相違しております(リバーHDは半期のみ)。この基準による2022年3月期予想は、売上高640億円、営業利益57億円、親会社株主に帰属する当期純利益33億円です。

注2：営業利益には、本経営統合に関わるのれん(約3.7億円/年：9月28日現在の暫定値)影響額及び統合関連費用約1.3億円を見込んでおります。

注3：中期経営計画の通期計画につきましては現段階での見直しは行いません。

**営業利益は前期比の2.2倍！**

2021年4月～2021年9月の実績

単位：百万円

2 社合算	2021年4月～2021年6月		2021年7月～2021年9月		2021年4月～2021年9月	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
売上高	21,763	21,522	20,659	21,904	42,423	43,427
営業利益	2,098	2,227	1,846	2,615	3,944	4,842
営業利益率	9.6%	10.3%	8.9%	11.9%	9.3%	11.2%
四半期純利益	1,888	1,932	1,167	1,705	3,055	3,638

単位：百万円

タケエイG	2021年4月～2021年6月		2021年7月～2021年9月		2021年4月～2021年9月	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
売上高	10,470	10,229	11,229	10,847	21,700	21,076
営業利益	804	933	1,145	1,242	1,950	2,175
営業利益率	7.7%	9.1%	10.2%	11.5%	9.0%	10.3%
四半期純利益	458	503	641	628	1,100	1,131

単位：百万円

リバーG	2021年4月～2021年6月		2021年7月～2021年9月		2021年4月～2021年9月	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
売上高	11,293	11,293	9,429	11,057	20,722	22,350
営業利益	1,293	1,293	700	1,373	1,993	2,666
営業利益率	11.4%	11.4%	7.4%	12.4%	9.6%	11.9%
四半期純利益	1,429	1,429	526	1,076	1,955	2,505

## タケエイグループ

2022年3月期第2四半期の概況

市場環境

直近3事業年度における四半期比較

事業カテゴリー別売上高及び営業利益 <累計>

グループ各社の売上高及び営業利益 <累計>

事業カテゴリー別増減分析 (前年同期比) 【売上高】

収益認識に関する会計基準の適用について

事業カテゴリー別増減分析 (前年同期比) 【営業利益】

キャッシュ・フローの動向

設備投資・減価償却費、従業員数・車両台数

2022年3月期第2四半期の概況

<累計>

単位: 百万円(百万円未満切捨て)

	2020/9 <実績>		2021/9 <実績>		前年同期比	上期 業績予想	達成率
	売上高比		売上高比				
売上高	19,678	—	21,076	—	+7.1%	21,700	97.1%
営業利益	1,741	8.9%	2,175	10.3%	+24.9%	1,950	111.6%
経常利益	1,648	8.4%	2,026	9.6%	+22.9%	1,840	110.1%
四半期純利益◆	850	4.3%	1,131	5.4%	+33.2%	1,100	102.9%

◆親会社株主に帰属する四半期純利益

- ・売上高・営業利益とも過去最高を記録
- ・2021年5月14日開示の連結業績予想数値(上期)も概ね達成

<四半期>

単位: 百万円(百万円未満切捨て)

	第1四半期			第2四半期		
	<実績>	売上高比	前年同期比	<実績>	売上高比	前年同期比
売上高	10,229	—	+13.2%	10,847	—	+1.9%
営業利益	933	9.1%	+43.5%	1,242	11.5%	+13.8%
経常利益	901	8.8%	+44.7%	1,125	10.4%	+9.7%
四半期純利益◆	503	4.9%	+59.1%	628	5.8%	+17.8%

◆親会社株主に帰属する四半期純利益

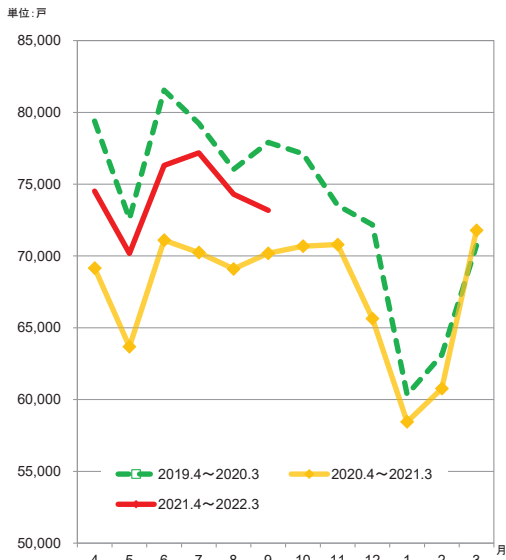
【業績に影響を与えた要因】

- ・株式会社タケエイ各中間処理工場の安定稼働及び有価物の分別強化、廃棄物の製品化の継続。
- ・イコールゼロ㈱は災害廃棄物処理支援事業が引き続き寄与し、廃液処理も好調。
- ・㈱ギプロ、㈱グリーンアローズ関東は、オリンピック・パラリンピック施設解体案件等の増加を受けて好調。
- ・㈱タケエイメタルは、スクラップ価格上昇等により好調。
- ・㈱北陸環境サービスは順調に廃棄物を受け入れ、スポット案件も寄与。
- ・㈱信州タケエイも産業廃棄物処理事業が好調。

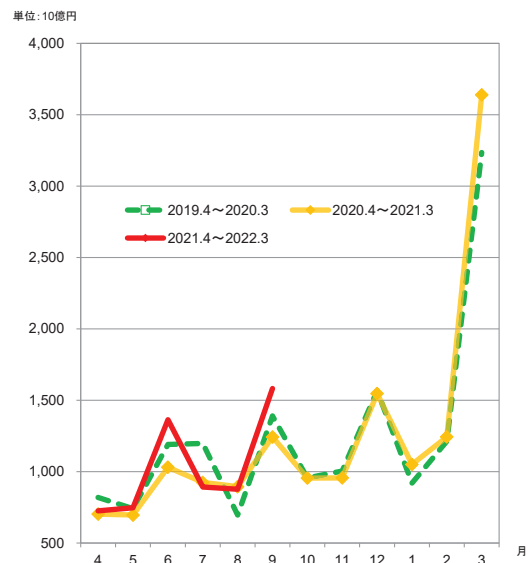
市原グリーン電力㈱取得時の暫定的な会計処理が前期末に確定したことに伴い、のれんの金額が増加した結果、前期第2四半期累計の営業利益が8百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が6百万円減少。

市場環境 (出処: 国土交通省)

新設住宅着工戸数



建設工事受注(大手50社)

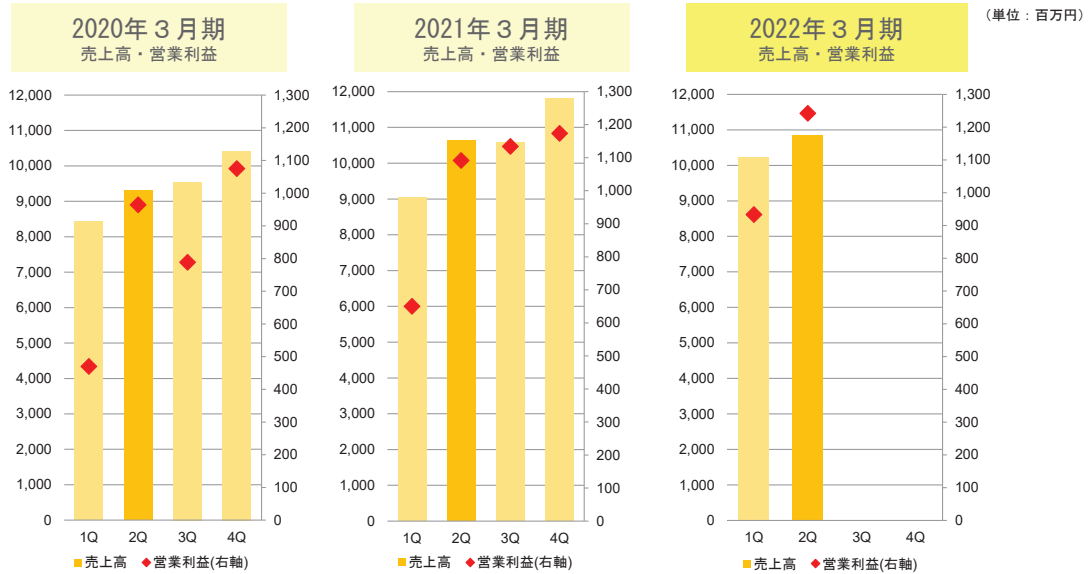


【新設住宅着工戸数】  
【建設工事受注(大手50社)】

コロナ禍の影響で住環境への関心が高まったことも手伝い、緩やかに持ち直しつつある。引き続き回復基調にある。

※「建設工事受注」グラフは、令和3年4月より推計方法が変更になったため除外

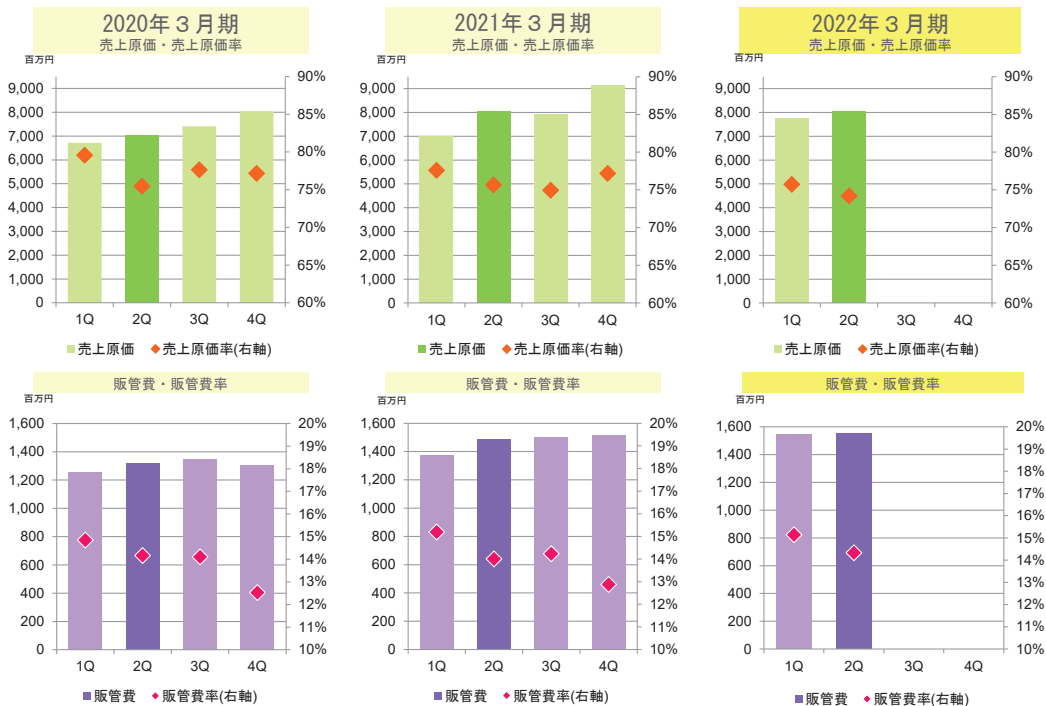
直近3事業年度における四半期比較【タケエイグループ連結】



・売上高は、㈱タケエイを含む廃棄物処理・リサイクル事業と、再生可能エネルギー事業が貢献。  
 ・営業利益は、㈱タケエイを含む廃棄物処理・リサイクル事業が大きく貢献。

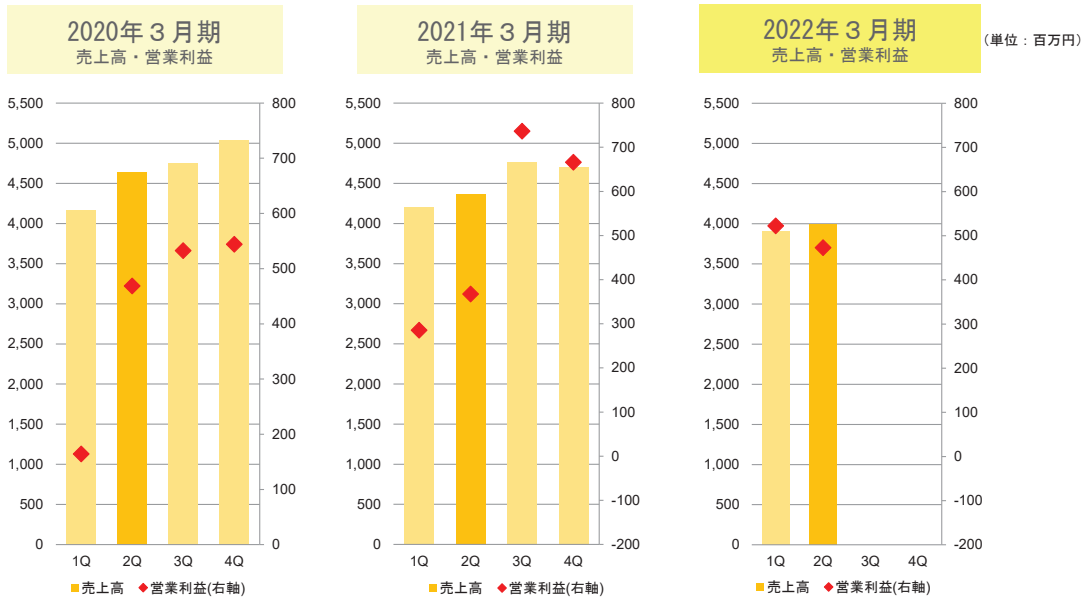
※グループ各社の業績はp.17をご参照ください。

直近3事業年度における四半期比較【タケエイグループ連結】



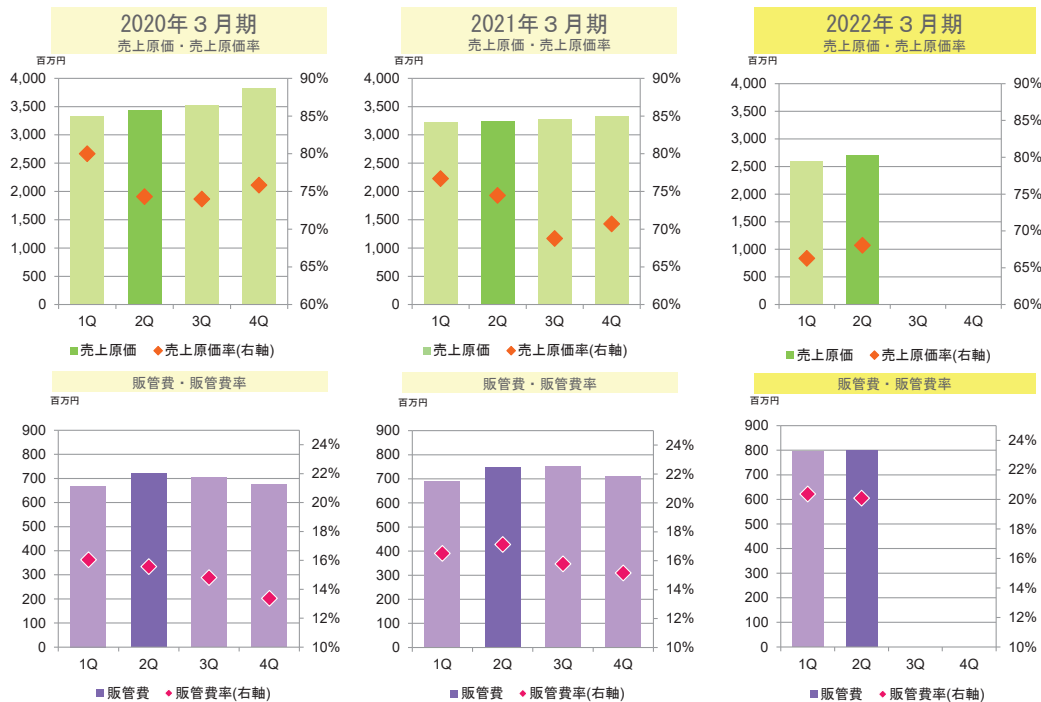


直近3事業年度における四半期比較【タケエイ】



・売上高は、「収益認識に関する会計基準」適用により、「その他売上」が減少したことが影響して減収。  
 ・営業利益は、中間処理工場の安定稼働や有価物抜き取り強化、廃棄物製品化などが貢献し、引き続き高位で推移。

直近3事業年度における四半期比較【タケエイ】





事業カテゴリ別売上高及び営業利益 <累計>

単位:百万円

	売上高			営業利益			営業利益率	
	2020/9	2021/9	前年同期比	2020/9	2021/9	前年同期比	2020/9	2021/9
連結	19,678	21,076	+7.1%	1,741	2,175	+24.9%	8.9%	10.3%
<廃棄物処理・リサイクル事業>	11,981	11,830	-1.3%	1,115	2,075	+86.2%	9.3%	17.5%
(株)タケエイ	8,567	7,897	-7.8%	653	995	+52.5%	7.6%	12.6%
<マテリアル&ランドフィル>	3,414	3,934	+15.2%	462	1,080	+133.7%	13.5%	27.5%
<再生可能エネルギー事業>	5,887	7,505	+27.5%	541	172	-68.1%	9.2%	2.3%
<環境エンジニアリング事業>	2,728	2,535	-7.1%	152	20	-87.1%	5.6%	0.8%
<環境コンサルティング事業>	579	683	+17.9%	39	72	+83.8%	6.8%	10.5%
連結消去	-1,497	-1,477		-105	-164			

※百万円未満 四捨五入(連結数値のみ切捨て)

注1: 事業カテゴリ別の数値は、グループ各社の連結消去前売上高、営業利益を単純合算。

グループ各社の売上高及び営業利益 <累計>

単位:百万円

会社名	売上高			営業利益			営業利益率		主な業務
	2020/9	2021/9	前年同期比	2020/9	2021/9	前年同期比	2020/9	2021/9	
連結	19,678	21,076	+7.1%	1,741	2,175	+24.9%	8.9%	10.3%	
(廃棄物処理・リサイクル事業)									建設廃棄物等の収集運搬・中間処理・再資源化・最終処分
(株)タケエイ	8,567	7,897	-7.8%	653	995	+52.5%	7.6%	12.6%	
(株)池田商店	302	287	-4.8%	67	51	-22.7%	22.1%	17.9%	再生骨材・再生砕石への再資源化
(株)キプロ	286	415	+45.2%	87	185	+113.9%	30.2%	44.5%	石膏ボードの再資源化
(株)グリーンアローズ関東	183	246	+34.1%	-28	62	---	---	25.0%	同上
(株)グリーンアローズ東北	131	120	-7.8%	-5	13	---	---	10.7%	同上
(株)タケエイメタル	171	309	+80.8%	-17	55	---	---	17.8%	鉄・非鉄スクラップの再資源化
(株)東北交易機	125	116	-7.3%	5	18	+240.5%	4.2%	15.3%	汚泥・燃えがら・灰・バグ・紙くず等由来の再生砕石製造(再資源化)
(株)イコールゼロ機	890	905	+1.6%	151	332	+120.1%	16.9%	36.7%	廃液処理・有害産業廃棄物処理・再資源化
(再生可能エネルギー事業)									
(株)東北陸環境サービス	659	743	+12.7%	188	300	+59.8%	28.5%	40.4%	管理型最終処分場の運営
(株)信州タケエイ	602	710	+17.9%	18	66	+261.6%	3.1%	9.4%	産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬・中間処理・再資源化・解体等
(株)タケエイエンジニア&パーク	66	83	+26.2%	11	21	+97.5%	16.6%	25.0%	最終処分場の跡地利用(バーグゴルフ場運営・太陽光発電)
(株)門前グリーンパーク	---	---	---	-14	-21	---	---	---	管理型最終処分場(事業継業社)
(環境エンジニアリング事業)									
(株)市原グリーン電力機	1,345	2,002	+48.8%	369	85	-76.9%	27.4%	4.3%	木質バイオマス発電 ※2021年4月7日より営業運転開始
(株)津軽バイオマスエナジー	839	751	-10.5%	107	56	-47.8%	12.7%	7.4%	木質バイオマス発電
(株)津軽あつふるパワー	75	227	+202.6%	11	14	+32.4%	14.4%	6.3%	小売電気事業
(株)花巻バイオマスエナジー	769	718	-6.6%	99	49	-50.0%	12.8%	6.9%	木質バイオマス発電
(株)花巻バイオチップ機	355	375	+5.6%	9	22	+136.5%	2.6%	5.8%	木質バイオマス発電用原料の製造・供給
(株)花巻河川パワー	159	284	+78.6%	30	45	+50.9%	19.0%	16.0%	小売電気事業
(株)花巻バイオマスエナジー	---	586	---	-46	-68	---	---	---	木質バイオマス発電 ※2021年4月7日より営業運転開始
(株)タケエイグリーンリサイクル	910	805	-11.5%	-238	-216	---	---	---	木質バイオマス発電・生木等の再生資源化・再生エネルギー原料供給
(株)津軽須賀アークウッドパワー	244	301	+23.3%	48	35	-25.5%	19.5%	11.8%	小売電気事業
(株)大仙バイオマスエナジー	840	840	0.0%	76	106	+40.1%	9.0%	12.6%	木質バイオマス発電
(株)大仙こまちパワー	326	317	-2.8%	78	38	-51.1%	23.8%	12.0%	小売電気事業
(株)ふくしま未来パワー	---	181	---	-0.02	-6	---	---	---	小売電気事業
(株)津軽エネパ	10	9	-17.1%	-1	2	---	---	25.7%	農作物の生産・販売
(株)タケエイ林業	14	110	+702.1%	1	8	+754.0%	7.0%	7.5%	山林の経営・管理・保全、バイオマス原料の生産・販売等
(株)T-Vエナジーホールディングス	---	---	---	-0.2	-0.3	---	---	---	再生可能エネルギー事業への投資管理・運営
(環境コンサルティング事業)									
(株)富士車輻機	2,728	2,535	-7.1%	152	20	-87.1%	5.6%	0.8%	環境プラント・車輻等の開発・製造・販売
(株)環境保全機	357	408	+14.2%	23	36	+56.9%	6.5%	8.9%	環境計量証明事業、環境コンサルティング
(株)アースアプライザル	222	275	+24.0%	16	36	+122.8%	7.2%	13.0%	環境コンサルティング
連結消去	-1,497	-1,477		-105	-164				

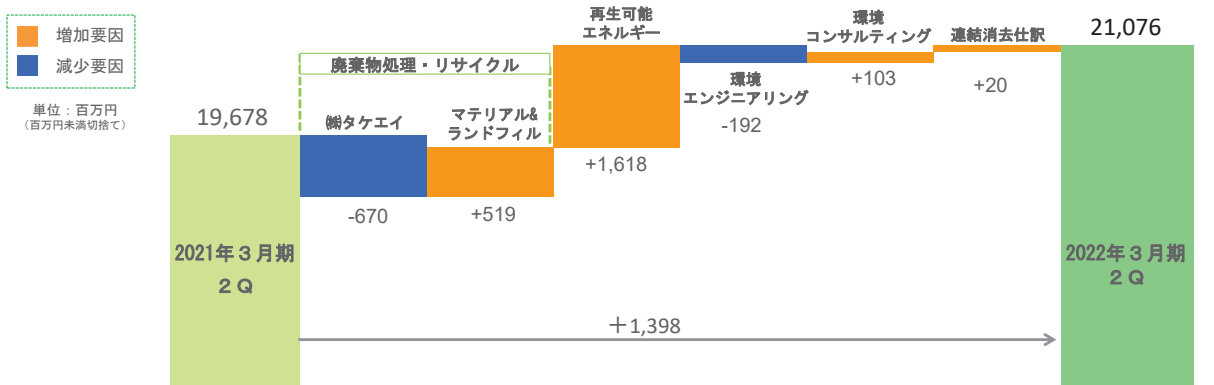
※百万円未満 四捨五入(連結数値のみ切捨て)

※2020年5月1日に(株)タケエイグリーンリサイクルが(株)津軽須賀バイオマスエナジーを吸収合併。前期売上高及び営業利益には、(株)津軽須賀バイオマスエナジーの2020年4月分も含む

※※少額のため小数点以下も表示

事業カテゴリ別増減分析（前年同期比） 【売上高】

廃棄物処理・リサイクル事業	自社処分・収集運搬以外の「その他売上」減少（「収益認識に関する会計基準」の適用）により減収（次ページもご参照ください）。産廃受入量はほぼ前年並み。
榊タケエイ	
マテリアル&ランドフィル	榊ギプロ、榊グリーンアローズ関東は解体案件等の増加により増収。榊タケエイメタルはスクラップ価格上昇等により増収。榊北陸環境サービスは搬入順調。榊信州タケエイも産廃処理事業が堅調。
再生可能エネルギー事業	前年第1四半期は連結業績に含めていなかった市原グリーン電力榊が寄与。2021年4月より売電を開始した榊田村バイオマスエナジー及び小売電気事業の榊ふくしま未来パワーも貢献。
環境エンジニアリング事業（富士車輛榊）	前年度の受注残高が減少した影響で減収。足元の受注状況は好調。
環境コンサルティング事業	環境保全榊及び榊アースアプレイザルは、大気汚染防止法改正（2021.4～）に伴いアスベスト分析事業が好調。



（注）1： 数値は、グループ各社の連結消去前売上高の増減を単純合算。

収益認識に関する会計基準の適用について

「収益認識に関する会計基準」等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することに変更いたしました。

- ① 環境エンジニアリング事業（富士車輛榊）及び環境コンサルティング事業において、従来は長期大型案件のみ進捗に応じて売上と利益を計上し、その他の案件は検取時に売上と利益を認識する方法を採用していたが、当期より全ての案件について、進捗度に応じて売上を計上する方法に変更。ただし長期大型案件以外の案件は、検取時まで原価と同額を売上として計上していく方法を採用。（原価回収基準）
- ② 廃棄物処理・リサイクル事業の「その他売上」のうち、代理人取引に係る収益について、従来は顧客から受け取る代金の総額を収益として認識していたが、顧客への財又はサービスの提供における役割（本人または代理人）を判断した結果、純額で収益を認識する方法に変更。
- ③ 廃棄物処理の過程で発生する金属スクラップ等「有価物」の売却代金は、従前は売上原価から控除していたが、当期より売上高に変更。

各事業セグメント及び連結業績への影響額は以下の通りです。

【セグメント別影響額 ※連結調整セグメント分解前】

単位：百万円（百万円未満四捨五入）

	廃棄物処理・リサイクル	再生可能エネルギー	環境エンジニアリング	環境コンサルティング	単純合算	連結調整	連結
売上高	-439	+0	+329	+12	-98	+130	+32
売上原価	-439	+0	+329	+12	-98	+130	+32
売上総利益	+0	+0	+0	+0	+0	+0	+0

事業カテゴリ別増減分析（前年同期比） 【営業利益】

廃棄物処理・リサイクル事業

㈱タケエイ

中間処理工場の安定稼働及び有価物採取強化・廃棄物製品化により大幅増益。

マテリアル&ランドフィル

イコールゼロ㈱は2019年の台風19号による災害廃棄物処理支援が寄与したほか、廃液処理も好調。㈱北陸環境サービスは搬入順調。㈱信州タケエイも産廃処理事業が堅調。

再生可能エネルギー事業

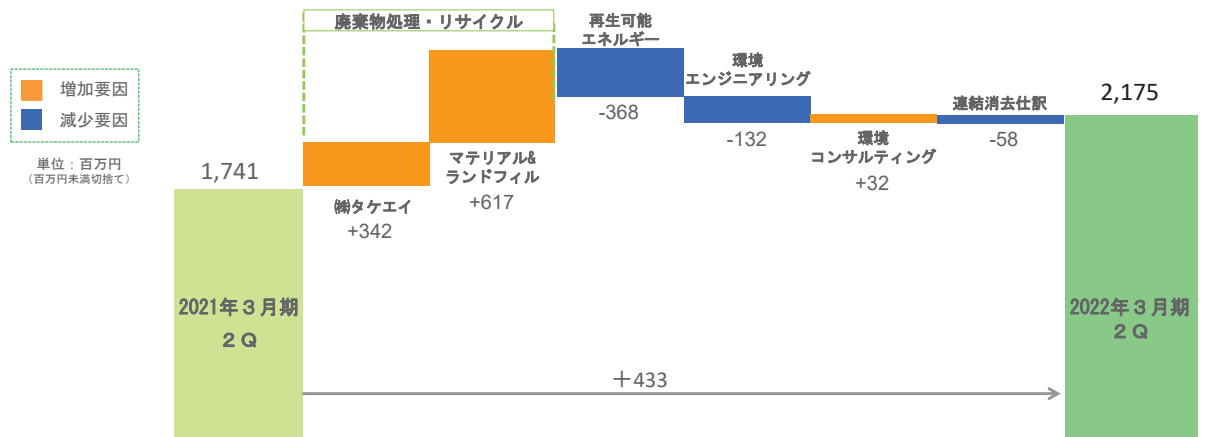
市原グリーン電力㈱は設備補修工事を臨時で行ったことで減益。㈱タケエイグリーンリサイクルの発電部門は、安定稼働体制の定着が引き続き課題。

環境エンジニアリング事業〔富士車輛㈱〕

前年度受注残高の減少により今期完工数が減少したことで減益。足元の受注状況は好調。

環境コンサルティング事業

環境保全㈱及び㈱アースアプレイザルは、大気汚染防止法改正（2021.4～）に伴いアスベスト分析事業が好調。



(注) 1: 数値は、グループ各社の連結消去前営業利益の増減を単純合算。

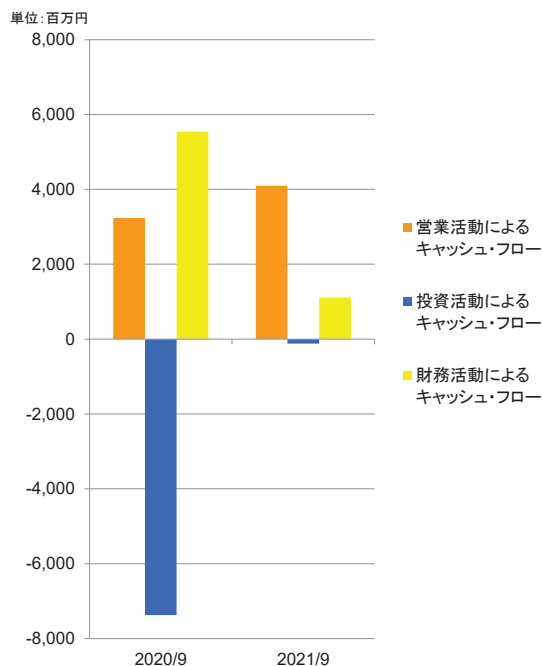
キャッシュ・フローの動向

	2020/9	2021/9
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,234	4,099
投資活動によるキャッシュ・フロー	-7,371	-122
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,540	1,109
現金及び現金同等物の増減額(マイナスは減少)	1,403	5,086
現金及び現金同等物の期首残高	11,029	10,282
現金及び現金同等物の期末残高	12,433	15,369

※百万円未満切捨て

<主な内訳>

	2020/9	2021/9
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,669	2,087
減価償却費	1,904	2,061
のれん償却額	109	192
災害損失引当金の増減	-118	-2
機械式立体駐車場関連連損失引当金	-124	-13
売上債権および契約資産の増減(前期: 売上債権の増減)	990	109
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	-2,561	-1,497
国庫補助金による収入	379	1,459
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出(または収入)	-5,039	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入(資本金等増減)	3,669	—
社債の発行収入	—	6,963
社債の償還支出	-298	-298
短期借入金の借入収入	5,600	—
長期借入による収入	3,159	—
長期借入金の返済による支出	-2,716	-2,545
自己株式の売却収入	454	—



設備投資・減価償却費、従業員数・車両台数

<設備投資・減価償却費>

	2021年3月期 2Q累計	2022年3月期 2Q累計	2021年3月期 (通期)実績	2022年3月期 (通期)※予想
設備投資				
連結	2,444	1,602	7,908	5,662
(うち 株タケエイ)	1,116	732	1,916	2,142
減価償却費				
連結	1,900	2,061	4,151	4,578
(うち 株タケエイ)	670	647	1,423	1,445
のれん償却(連結)	106	192	305	387

※百万円未満 四捨五入

<従業員数・車両台数>

	2021/3末	2021/6末	2021/9末
期末従業員数(人)			
連結	1,358	1,370	1,381
(うち 株タケエイ)	624	647	655
収集運搬車両(台)単体	305	304	307
内、復興PJでの使用台数	42	42	42

主な設備投資	2022年3月期	上期実績	
株タケエイ	設備・車両更新など		7.3億円
イコールゼロ㈱	設備・車両更新		0.8億円
機門前クリーンパーク	処分場造成工事など		0.7億円
株タケエイグリーンリサイクル	設備・車両更新		0.6億円
花巻バイオチップ㈱	中間処理設備設置など		1.6億円

主な設備投資	2022年3月期	計画	
株タケエイ	設備・車両更新、処分場拡大など		21億円
イコールゼロ㈱	設備・車両更新		3億円
機門前クリーンパーク	処分場造成工事		14億円
株タケエイグリーンリサイクル	設備・車両更新		3億円
花巻バイオチップ㈱	中間処理設備整備		3億円

## リバーホールディングスグループ

2022年6月期第1四半期の概況

市場環境

資源相場変動による資源リサイクル事業への影響について

経常利益増減分析

売上高・粗利内訳 【リバーホールディングスグループ単純合算】

株主配当

## 2022年6月期第1四半期の概況

単位：百万円

	21年6月期		22年6月期（9カ月）				
	1Q	売上高比	1Q	売上高比	前年同期比	通期業績予想	進捗率 (基準：33%)
売上高	6,750	-	<b>11,057</b>	-	+63.8%	<b>28,454</b>	38.9%
粗利(※)	3,580	53.0%	<b>4,694</b>	42.5%	+31.1%	<b>12,163</b>	38.6%
営業利益	383	5.7%	<b>1,373</b>	12.4%	+258.5%	<b>2,110</b>	65.1%
経常利益	432	6.4%	<b>1,556</b>	14.1%	+260.2%	<b>2,303</b>	67.6%
四半期純利益(※)	282	4.2%	<b>1,076</b>	9.7%	+281.6%	<b>1,557</b>	69.1%
EBITDA	694	10.3%	<b>1,685</b>	15.2%	+142.8%	<b>3,205</b>	52.6%

※ 粗利 = 売上から仕入原価を差し引いた値。

※ 四半期純利益 = 親会社株主に帰属する四半期純利益

※ 決算期変更に係る定款変更を2021年10月1日に行ったため、2021年7月～2022年9月の四半期会計期間につきましては「2022年6月期 第1四半期」となります。また、当期におきましては2021年7月～2022年3月までの9カ月間となります。

※ TRE中期経営計画においては2021年4月～同年9月までの業績を反映していますが、リバーHDの2022年6月期第1四半期においては、決算短信と合わせた2021年7月～同年9月までの3カ月間としています。

## 営業利益および経常利益は前年同期の3.6倍！

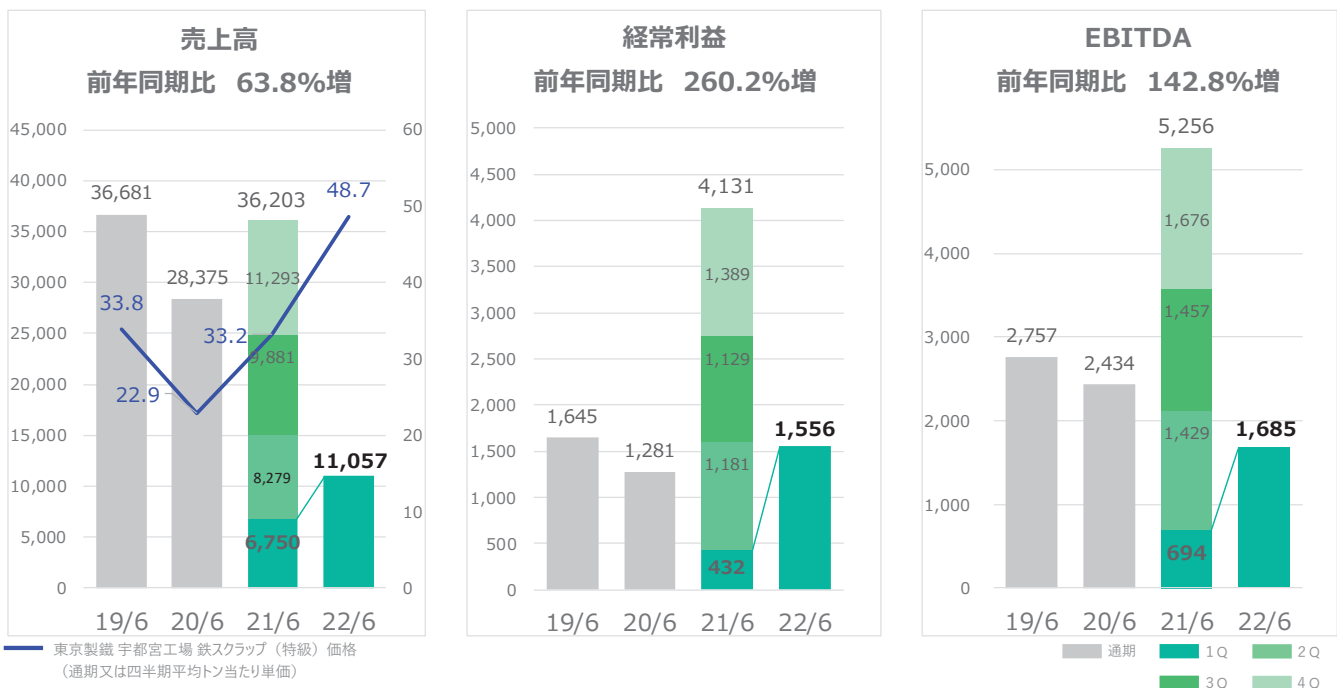
輸出向けと国内需要家の取り合いにより、鉄や非鉄などの資源相場が高値推移を維持したことで、加工・選別の徹底による有価物の売却益が増加し、併せて処分費の掛かるダスト(※1)を減容することで利益向上に繋がりました。

※1：金属や廃棄物などの選別・加工過程において発生する残渣物のこと。

25

## 2022年6月期第1四半期の概況

※ 2020年6月期第1四半期以前においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、四半期毎にグラフ表記しておりません。

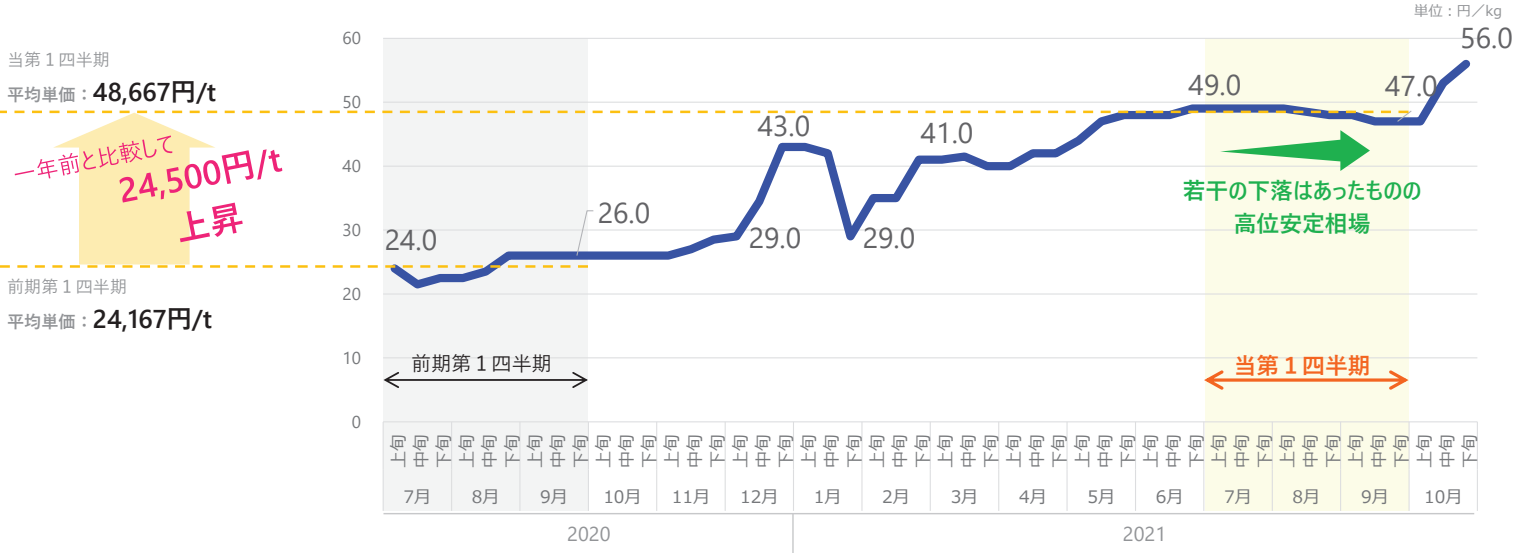


26

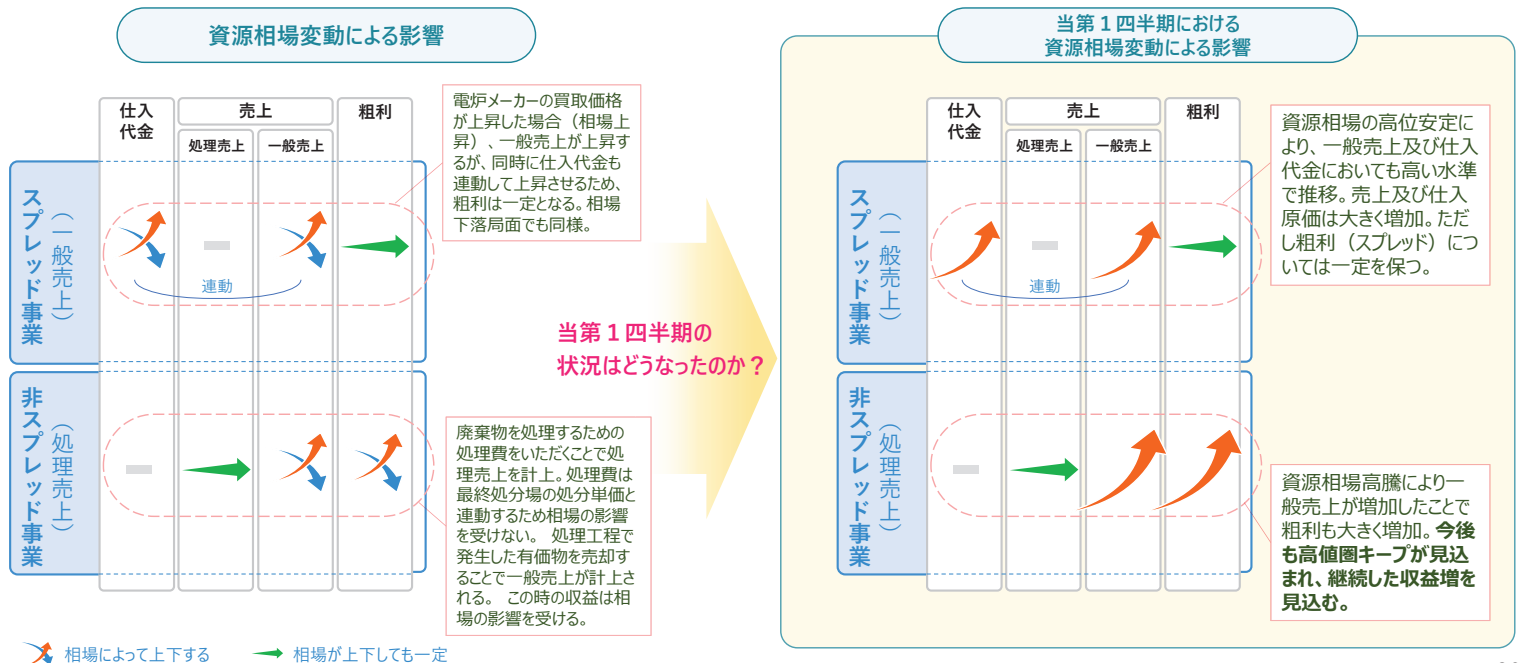
市場環境

■ 鉄スクラップ市況

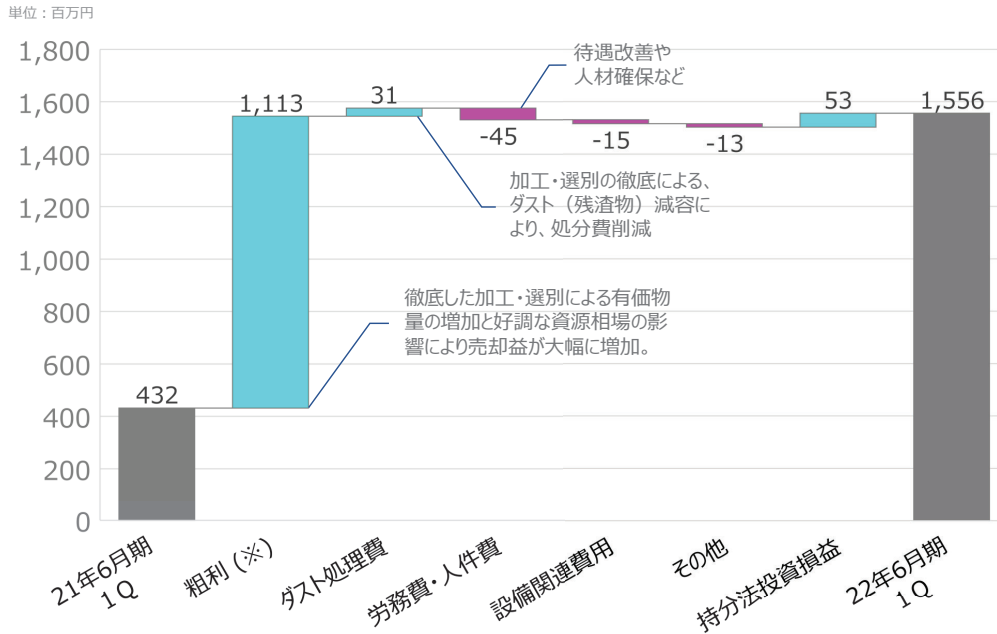
当第1四半期において、期首49,000円/t（東京製鐵宇都宮特級価格）から、期末には47,000円/tと、2,000円/tの下落となったものの、依然として高値水準を維持。 昨年同期との比較においても、+24,500円/tと大幅な上昇となっています。 コロナ禍の継続により、鉄スクラップ発生量の回復が遅れている中、限られた鉄スクラップを輸出向けと国内需要家が取り合う形となっており、今後も高値水準での推移が予想されます。



資源相場変動による資源リサイクル事業への影響について



経常利益増減分析



※ 粗利 = 売上から仕入原価を差し引いた値。

売上高・粗利内訳【リバーホールディングスグループ単純合算】

■ 売上高

単位：百万円

売上高	21年6月期 1Q	22年6月期 1Q		増減比
	実績	実績	構成比	
一般売上 (単純合算)	6,127	<b>11,035</b>	<b>90.3%</b>	+80.1%
金属	5,775	10,663	96.6%	+84.6%
自動車	351	372	3.4%	+5.8%
処理売上 (単純合算)	1,275	<b>1,161</b>	<b>9.5%</b>	-8.9%
その他売上 (単純合算)	49	<b>31</b>	<b>0.3%</b>	-37.3%
連結消去	-701	-1,171	-	-
合計	6,750	<b>11,057</b>	-	+63.8%

■ 粗利

単位：百万円

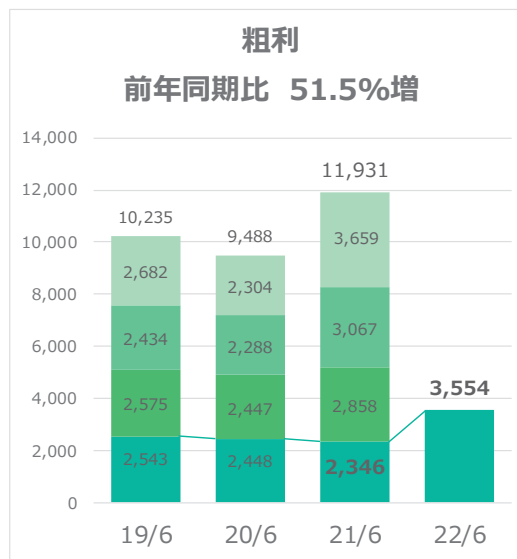
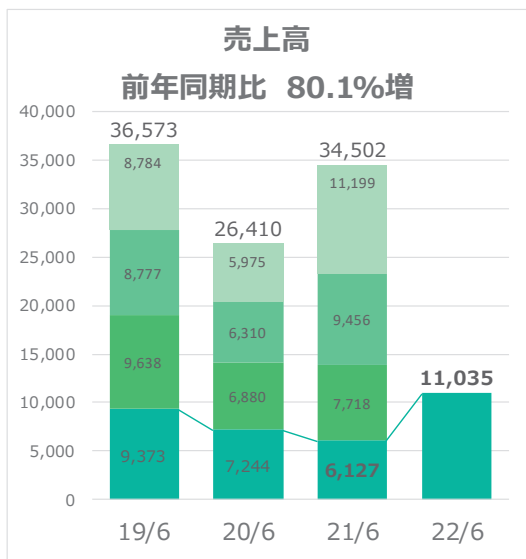
粗利	21年6月期 1Q	22年6月期 1Q		増減比
	実績	実績	構成比	
一般売上 (単純合算)	2,346	<b>3,554</b>	<b>74.9%</b>	+51.5%
金属	2,114	3,277	92.2%	+55.0%
自動車	231	277	7.8%	+19.9%
処理売上 (単純合算)	1,275	<b>1,161</b>	<b>24.5%</b>	-8.9%
その他売上 (単純合算)	43	<b>31</b>	<b>0.6%</b>	-28.1%
連結消去	-84	-52	-	-
合計	3,580	<b>4,694</b>	-	+31.1%

※ 粗利 = 売上から仕入原価を差し引いた値。



売上高・粗利内訳 【リバーホールディングスグループ単純合算】

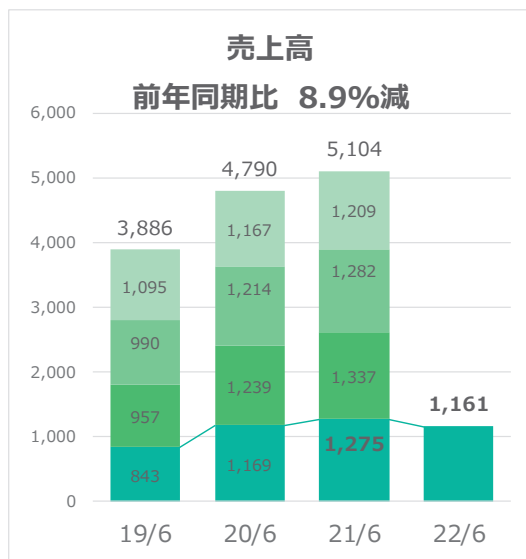
■ 一般売上



- 金属 : 資源相場の高値圏推移により大幅な増収増益。
- 自動車 : 使用済み自動車から取り出した触媒コンバーターの価格高騰など、資源相場の高値圏推移により増収増益。

売上高・粗利内訳 【リバーホールディングスグループ単純合算】

■ 処理売上



※ 粗利 = 売上から仕入原価を差し引いた値。

- 廃棄物 : コロナ禍による経済活動の停滞により数量が減少したことで減収減益となる。
- 家電 : コロナ禍により、需要の前倒しがあったため発生量が減少し減収減益となる。

## 株主配当

	21年6月期	22年6月期（中間配当） 3カ月（2021年9月29日上場廃止）
1株あたり配当金	35.0円	10.0円

※ 2021年6月期の配当は期末配当（年間）、2022年3月期の配当は第1四半期（3ヶ月間）

## トピックス

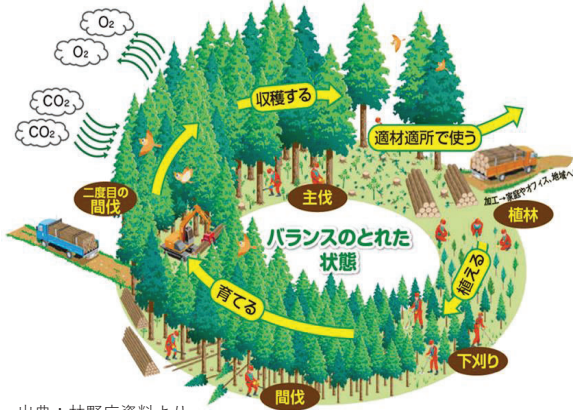
[TREのバイオマス発電事業について](#)[イコールゼロ株の取り組みについて](#)[株門前クリーンパークの工事進捗報告](#)[TREのサーキュラーエコノミーへの取り組み](#)[TREの取り組みについて](#)

TREグループのバイオマス発電事業について

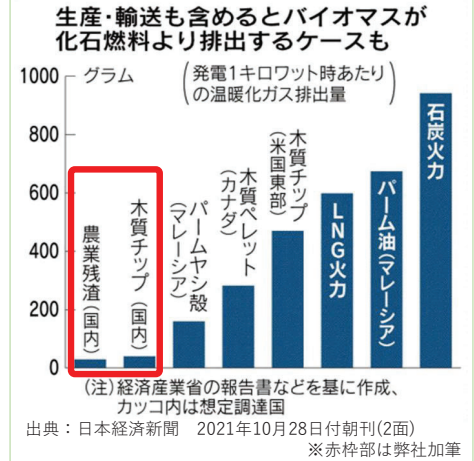
TREグループが東北地方で営む木質バイオマス発電事業において使用する燃料は、原則として国内発電所の半径50km圏内より、地元の森林組合等と長期スキームを構築の上、集荷しており、この範囲内からの集荷可能性を基準に発電出力を設定しています(7,000kW前後)。

大規模な発電所を運営するには大量の燃料調達が必要となり、海外などの遠方・広範囲からの集荷および運搬の過程において、CO<sub>2</sub>の排出量も大幅に増大します。従いまして、TREグループのバイオマス発電事業は、海外からの燃料大量調達のビジネスモデルとは一線を画しております。

※厳冬期などに燃料の水分率が高い場合、輸入PKSを助燃材として使うことはあります



出典：林野庁資料より



また、燃料となる木材は、主として間伐材を使用しています。「間伐」は、山林が健全に生育するために必要不可欠ながら、安価な輸入木材に押されて国内林業が衰退するなどの事情により、日本国内では十分に行われていないのが現状です。

豊かな森林から発生する間伐材を利用して発電を行うだけではありません。グループ内の株式会社タケエイ林業は、間伐のみならず育苗、植林といった林業の一連のプロセスに携わることを目指して設立しました。2021年4月には岩手県花巻市内に240haの山林を取得するなど、行政や地元林業事業者の皆様のお力を借りて、地球環境の保全に寄与するための事業活動を開始しています。

なお、発電した電気は地元小中学校や公共施設などに供給しており、『電力の地産地消』を実現しています。

イコールゼロ株の取り組みについて

イコールゼロ株 廃液から抽出したリンによる肥料製造

災害廃棄物処理支援事業

無電解ニッケルメッキ液からニッケルを回収し、残った廃液から亜リン酸を取り出して肥料として製品化することに成功しました。製品化した肥料に含まれる「ク溶性リン酸\*」は、植物の根に吸収されやすいため、根の張りが良くなり、農作物が丈夫に育つことで知られています。すでに今年7月より出荷を始めております。本件取り組みは、タケエイグループ中期経営計画「2023 to the FUTURE」の目標の一つである「廃棄物の付加価値化・製品化」に資する取り組みであるほか、リン鉱石を100%輸入に依存している我が国において、廃液から資源を回収することで資源循環型社会への更なる貢献につながるものです。

\*「ク溶性リン酸」...クエン酸の溶液で溶ける肥料成分。徐々に溶け出すためゆっくり吸収される。



2019(令和元)年の台風19号によって発生した災害廃棄物の処理支援事業にも継続して取り組んでいます。(一社)長野県資源循環保全協会が受託した保管場所での誘導、荷下ろしの手伝い、場内の仕分け・整理業務の一端を担ったほか、長野市より委託を受けて土砂運搬も行いました。





株門前クリーンパークの工事進捗報告

航空写真 (2021年10月)



防災調整池付近の造成工事

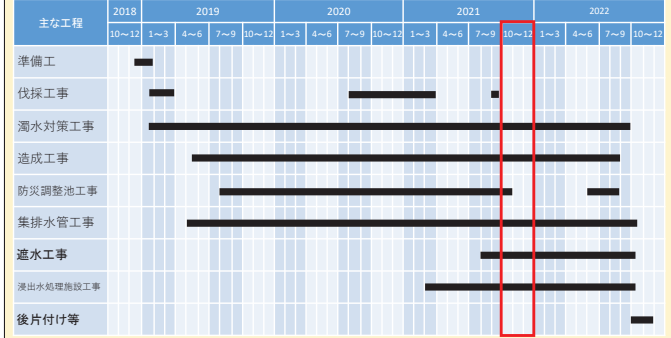


残土仮置場の造成工事



○今後の工程

工事期間は3年間で予定しておりましたが、保護対象種とした鳥類への配慮や埋蔵文化財の調査、降雪の影響等により、延伸しております。

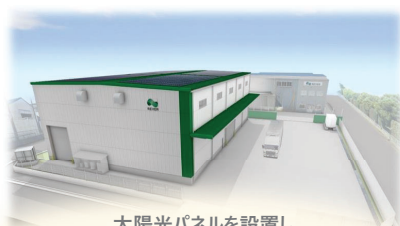


注：工程は予定であり、工事の進捗により変更されます。

引き続き環境などに配慮し、安全に工事を実施してまいります。

TREのサーキュラーエコノミーへの取り組み

リバー(株)東松山事業所 電子廃棄物専用ライン新設

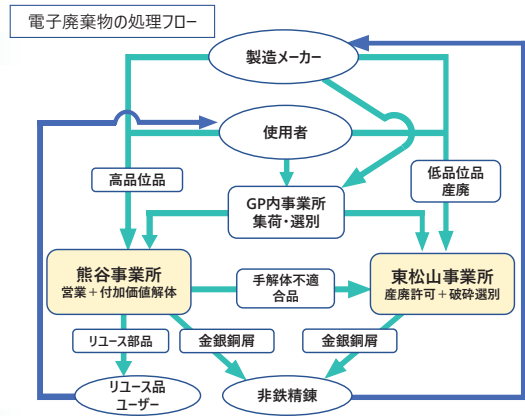


太陽光パネルを設置し、施設稼働に必要な使用電力の26%を再生可能エネルギーで賄います。

世界的な電子廃棄物の増加に伴い  
電子廃棄物専用(破砕機)ラインの新設

中田屋(株)熊谷工場で実施しているATMなどの機密情報を含む電子機器類の手解体ラインと連携し、解体後の基板を破砕・異物除去するなど、付加価値向上に向けた取り組みを強化します。電子スクラップの破砕を行うことで、鉄・アルミを選別した後の「金銀銅滓」を国内大手精錬メーカーへ出荷します。

2022年4月稼働予定



NNY(株)那須事業所 樹脂選別ライン新設



ミックスメタル

プラスチックリサイクルの推進に向け  
樹脂選別を強化するため専用選別ラインを新設。

現在、NNY(株)那須事業所において、ミックスメタル選別後に残るダスト(残渣物)の中から、樹脂などのマテリアルを年間 600t 選別して資源化につなげています。今後、新たに樹脂選別ラインを増設し、マテリアルリサイクル量を年間 1,800t まで増やし、より一層の資源化に貢献いたします。さらにRPFなどの代替燃料として活用できる燃料向けのダストも年間 420t 選別出来ると見込んでいます。

2022年7月稼働予定



ミックスメタル：アルミニウム、銅、ステンレス等の非鉄金属とプラスチックの混合物。

RPF：古紙及び廃プラスチック類を主原料とした固形燃料。高カロリーで、化石燃料と比較してCO<sub>2</sub>排出量が少ない。

## TREの取り組みについて

## 統合シナジー

- タケエイグループで受け入れた鉄含有複合物や金属類をリバーグループで処理。
- リバーグループで破碎（シュレッダー）処理された破碎物や破碎後の残渣物（ダスト）をタケエイグループでRPF化する取り組みを推進。組成分析や事前選別方法の確認など、両グループ拠点の相互交流により具体的な実証を開始。

カーボンニュートラル推進の流れが加速。  
 化石燃料の代替として**RPF**の需要が増加。



## 企業アンバサダーである長谷川ミラさんにTREを体感してもらいました



長谷川ミラさん（モデル）  
 自身のSNSや各メディアを通じて、世界が抱える環境問題や企業等のSDGsの取組を積極的に発信するなど、Z世代を代表するSDGsリーダーとして注目を集めています。

TREの企業アンバサダーである長谷川ミラさん。  
 TREグループ拠点に足を運んでもらい発電現場やリサイクル現場を肌で体感してもらいました。

(株)花巻バイオマスエナジー  
 フェニックスメタル(株)  
 (株)タケエイ 川崎リサイクルセンター

(岩手県花巻市)  
 (千葉県市原市)  
 (神奈川県川崎市)

その模様は**後日動画公開**いたします。

## 免責事項

- 本資料に記載の内容は、過去及び現在の事実に関するものを除き、当社が現時点で入手可能な情報及び仮説に基づいて判断されたものであり、当該仮説や判断に含まれる不確定要素や、将来の経済環境の変化等により影響を受ける可能性があり、結果として当社および当社グループの将来の業績と異なる可能性があります。
- なお、本資料における将来情報に関する記述は上記のとおり本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。
- また、本資料に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



**TRE HOLDINGS**

未来へ、捨てない創造力を。